

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【公開番号】特開2000-14868(P2000-14868A)

【公開日】平成12年1月18日(2000.1.18)

【出願番号】特願平10-181754

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月7日(2008.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機本体に固定される第 1 の固定部材と、前記第 1 の固定部材の前側において前記第 1 の固定部材に対し固設された第 2 の固定部材と、前記第 1 及び第 2 の固定部材に対し相対回動可能に設けられたハンドルリングとを有するハンドルを備え、前記ハンドルリングの回動操作量に応じて遊技媒体の飛翔力を調整しうる遊技機において、

前記第 1 の固定部材には、前側に突出する環状の周壁部が形成されており、

前記ハンドルリングの後部には、前記第 1 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の後側周壁部と、前記第 1 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の後側周壁部とが設けられ、これら第 1 の後側周壁部及び第 2 の後側周壁部間に形成された溝状の後側収容部内に、前記第 1 の固定部材の周壁部の前端側を収容させたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技機本体に固定される第 1 の固定部材と、前記第 1 の固定部材の前側において前記第 1 の固定部材に対し固設された第 2 の固定部材と、前記第 1 及び第 2 の固定部材に対し相対回動可能に設けられたハンドルリングとを有するハンドルを備え、前記ハンドルリングの回動操作量に応じて遊技媒体の飛翔力を調整しうる遊技機において、

前記第 2 の固定部材には、後側に突出する環状の周壁部が形成されており、

前記ハンドルリングの前部には、前記第 2 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の前側周壁部と、前記第 2 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の前側周壁部とが設けられ、これら第 1 の前側周壁部及び第 2 の前側周壁部間に形成された溝状の前側収容部内に、前記第 2 の固定部材の周壁部の後端側を収容させたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明においては、遊技機本体に固定され

る第 1 の固定部材と、前記第 1 の固定部材の前側において前記第 1 の固定部材に対し固設された第 2 の固定部材と、前記第 1 及び第 2 の固定部材に対し相対回動可能に設けられたハンドルリングとを有するハンドルを備え、前記ハンドルリングの回動操作量に応じて遊技媒体の飛翔力を調整しうる遊技機において、

前記第 1 の固定部材には、前側に突出する環状の周壁部が形成されており、

前記ハンドルリングの後部には、前記第 1 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の後側周壁部と、前記第 1 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の後側周壁部とが設けられ、これら第 1 の後側周壁部及び第 2 の後側周壁部間に形成された溝状の後側収容部内に、前記第 1 の固定部材の周壁部の前端側を収容させたことをその要旨としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、請求項 2 に記載の発明では、遊技機本体に固定される第 1 の固定部材と、前記第 1 の固定部材の前側において前記第 1 の固定部材に対し固設された第 2 の固定部材と、前記第 1 及び第 2 の固定部材に対し相対回動可能に設けられたハンドルリングとを有するハンドルを備え、前記ハンドルリングの回動操作量に応じて遊技媒体の飛翔力を調整しうる遊技機において、

前記第 2 の固定部材には、後側に突出する環状の周壁部が形成されており、

前記ハンドルリングの前部には、前記第 2 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の前側周壁部と、前記第 2 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の前側周壁部とが設けられ、これら第 1 の前側周壁部及び第 2 の前側周壁部間に形成された溝状の前側収容部内に、前記第 2 の固定部材の周壁部の後端側を収容させたことをその要旨としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(作用)

本発明によれば、ハンドルリングは、遊技機本体に固定される第 1 及び第 2 の固定部材に対し回動操作される。そして、ハンドルリングの回動操作量に応じて遊技媒体の飛翔力が調整される。

第 1 の発明では、第 1 の固定部材には、前側に突出する環状の周壁部が形成されており、前記ハンドルリングの後部には、前記第 1 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の後側周壁部と、前記第 1 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の後側周壁部とが設けられ、これら第 1 の後側周壁部及び第 2 の後側周壁部間に形成された溝状の後側収容部内に、前記第 1 の固定部材の周壁部の前端側が収容させられる。

また、第 2 の発明では、前記第 2 の固定部材には、後側に突出する環状の周壁部が形成されており、前記ハンドルリングの前部には、前記第 2 の固定部材の周壁部の外周側に重なり合う第 1 の前側周壁部と、前記第 2 の固定部材の周壁部の内周側に重なり合う第 2 の前側周壁部とが設けられ、これら第 1 の前側周壁部及び第 2 の前側周壁部間に形成された溝状の前側収容部内に、前記第 2 の固定部材の周壁部の後端側が収容させられる。従って、第 1 の固定部材及びハンドルリング間、或いは、ハンドルリング及び第 2 の固定部材間に異物を介在させたとしても、当該異物が内部に侵入しにくい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 6
【補正方法】削除
【補正の内容】